

令和6年1月17日発行

真言宗御室派

長泉寺

〒700-0807

岡山市北区南方3丁目10番40号

TEL (086) 223-7450

FAX (086) 221-0302

振込 岡山 01250-6-6418

ホームページ www.chosenji.net

長泉寺だより 第346号

新春、コロナによる行動制限のない久方ぶりの正月である。しかし^{めでた}禧い年明けも束の間、能登にて大震災。年始早々、自然の厳しさが押し掛かった。衷心より亡者を悼み、全ての被災者にお見舞いを申し上げる次第である。

思い返せば平成二十三年東日本大震災。被災者の一人がテレビの向こうでこう言われた。「神も仏もない」と。縁あって震災発生八日後に東北の現地に立った私には、その言葉が刺さる。被災地で見た景色が、まさに絶望そのものだったからである。

神も仏も、もし居るのであれば、なぜこのような悲劇をもたらすのか？被災した誰もがそう感じただろうし、現在の石川県

希 望

ひ と も し

では現在進行形でそうであろう。しかし同時に、東北の被災地で過ごした日々の中には、神仏の救いもまた溢れていた。亡者を弔い、亡者の気持ちに触れればこそ、彼女らの

ためにも必ず生き抜くんだ、という人々の切なる願いがあった。その願いこそが、絶望の淵から這い上がるための原動力となり、未来への希望となった。今日の東日本は、その延長線上にある。

神仏は、決して我々を見放さないのだ。生き残った者だけでなく、亡くなった者さえも、その存在を希望へと昇華し、必ずや未来へとつなげてくれる。我々が祈るのもそのためだ。大自然に畏怖しつつも、希望に満ちた一年にしていこう。(龍)

除災招福 厄除祈願

節分 星まつり

2月3日(土) 19時~20時

厄年の御方は お菓子やお餅などをお供え下さい

節分祈願札をご希望の方は 当山ホームページより

もしくは別紙案内用紙をご記入の上 事前に寺務所まで申込み下さい (1,000円/一願)

お供えのお菓子の一部は 児童養護施設「若松園」様に寄付させていただきます



厄払い豆まき



備前太鼓獅子舞



令和六年、新しい年の幕開けでございます。初春のお祝いから始めたいところですが、新年早々、能登半島の大地震、翌日には羽田空港での航空機事故と大惨事が続きました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災されました皆様には心からお見舞いを申し上げます。

一方で、昨年の新型コロナウイルス移行に伴い、四年ぶりに行動制限のないお正月を迎えました。会いたいけど会えない、行きたいけど行けないという三年間の日々がウソのようでもあります。

さて今年には辰年ですね。十二支の中で唯一、架空の生物が干支となっている年です。天に上る龍、昇龍。私たちも昇龍にあやかり、新しい気持ちで、躍動する一年としましょう！

龍と言いますと、住職の名前は「龍門」です。日ごろからパワフルな活動を続けている住職ですが、名前が龍そのものですから、今年はその名のとおり、上り龍のごとくさらに上を目指してご活躍いただけるものと期待しております。

お寺のことについて触れさせていただきますと、昨年から月例行事、例年行事、お彼岸やお盆の訪問参拝などについて、皆様のご協力を頂きながら徐々に以前の状態に戻しております。総代会としまして、全員で力を合わせ、英知を集めて住職をサポートしながら、適切な寺運営に当たってまいりたいと考えているところでございます。

結びになりますが、今年も皆様方にとりまして健康で、災いのない幸せな年になりますことを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

長泉寺 檀信徒総代長 岩見徹

新春のお慶びを申し上げます。

さて昨年は、宗祖弘法大師様ご誕生一二五〇年という記念すべき一年でございました。誕生月の六月には、岡山市内の真言宗寺院が結集し、大師ご誕生を寿ぐ「青葉まつり」を奉修。並びに東大名誉教授の養老孟司先生をお招きし講演会を実施するなど、晴れやかなる記念行事を行うことができました。

また、コロナ禍からの夜明けを祝う特別祈禱酒「ながいづみ」を企画し、社会が元気になって欲しいとの願いを一つの形にすることができました。檀信徒皆様にもぜひ当酒を酌み交わしながら、ご家族やご友人との団欒を豊かで楽しいものにしていただければ嬉しいです。

一方で、ウクライナに加えてパレスチナ・ガザ地区で戦争が起き、悲しみの多い一年ともなりました。今年はさらに、元旦より能登半島で大震災が起こり、二百名以上が死亡。我が国に於いても深い悲しみが広がっています。亡くなられた方々を悼み、被災者皆様には心よりお見舞いを申し上げる次第です。

当山では、ボランティア基金会にて「令和六年能登地震被災者救援募金」を立ち上げており、檀信徒皆様と一致協力して被災された方々を支援して参りたい所存です。

無常なる自然、不完全なる人間社会を生きることは決して楽しいことばかりではありませんが、だからこそ辛いときは支え合い、そういう時こそ元氣を出してやっていかなければと強く思います。本年も何卒よろしくお願いいたします。

長泉寺 住職 龍門

令和6年 本尊薬師初縁日

大般若法会

正月八日、毎年恒例の「大般若法会」を奉修いたしました。

有縁寺院にご参集いただき『大般若波羅蜜多經』を転読する当法会は、檀信徒皆様の一年の無事安寧を祈願するため、本尊薬師如来の新年最初のご縁日に毎年奉修しております。

今年は能登半島での大地震や羽田空港での事故が早々に発生し、多くの方が不安を感じる年



明けとなったかと思えます。そういう意味でも、当山本尊薬師如来、および大般若經本尊般若十六善神の宝前に同経を力強く読み上げ、皆様が元よく一年を過ごせるようご祈念させていただきます次第です。

法会後には、千翔流日本舞踊師範の千翔有流さんに奉納舞踊をいただき、ご参拝の皆様とともに新春を寿ぐ時間を持つことができました。

関係者皆様には、心よりお御礼申し上げます。

除夜の鐘

昨年の大晦日、当山鐘楼門にて「除夜の鐘」を奉修いたしました。

当日は穏やかな天候に恵まれ、一五〇名を超える方々がご参拝。皆様には、去る年への感謝と、来る年への希望を胸に一人ずつ鐘を撞いていただき、住職よりお加持をさせていただきました。除夜恒例のお接待「豚汁」とともに、特別祈禱酒「ながいづみ」も振る舞われ、ご参拝の皆様喜んでいただきました。



とんど焼き

正月十四日、毎年恒例の「とんど焼き」を予定していましたが、当山内でコロナ陽性者が出てしまったため、急遽延期とさせていただきます。

なお、代替日は左記の通りです。檀信徒皆様には、昨年までの御札や御守護、卒塔婆などのほか、正月飾りやしめ縄などをご持参下さいませ。『般若心経』を唱え、一年の無病息災を祈りながらお焚き上げさせていただきます。

なお、正月飾りは付属の針金等の金属類を事前に取り外しておいていただけますと助かります。また、人形等の不燃物は受け付けかねますのでご了承下さい。

とんど焼き 代替開催

一月二十日(土)

午前九時半～十一時頃

四国八十八カ所札所

本尊御影屏風奉納

檀徒の渡部新平氏（北区弓之町）はこの度、ご自身が四国遍路で集めた八十八札所本尊の御札（御影）を半双屏風に仕立て、当山へ奉納下さいました。

奉納された屏風には、令和二年「賜弘法大師号一一〇〇年記念」に限定配布された御詠歌付き札、並びに彩色御影と呼ばれるカラーの御札二種が表装されています。客殿に置かせていただいていますので、皆様にもぜひ一度ご覧ください。



渡部新平氏（写真右）

寺子屋文化講座



市田真紀先生

昨年十二月十八日に開講された「第四十三回寺子屋文化講座」は、日本酒ライターの小田真紀先生を講師にお招きし、我が国におけるお酒の歴史について学びました。

縄文時代にさかのぼる「口嚙みの酒」から、最新の酒造りに至るまで解説をいただき、特に室町時代に真言宗僧侶によって開発され、現在の日本酒製造の基礎技術ともなっている「菩提元」について詳しくご紹介いただきました。

コロナ禍の夜明けに祈る

ながいづみ祈禱法会

総代会はこの度、コロナ禍による行動制限のないお正月を四年ぶりに迎えるに当たり、多くの皆様にご家族やご友人との団欒を楽しく豊かなものにしていただき、さらにはコロナ禍で失った元気を社会が取り戻してもらいたいとの願いを込めて、「特別祈禱酒ながいづみ」という清酒を企画し、嘉美心酒

造株式会社様（浅口市寄島町）に数量限定で製造していただきました。

ついでには昨年の冬至にあたる十二月二十二日、当酒を本堂にお供えし、総代、同酒造会社役員らご参集のもと「コロナ禍の夜明けを祈る」祈禱法会を奉修いたしました。

当酒は、当山境内向かいの酒ショップ山本様、岡山天満屋様、倉敷天満屋様などご購入いただけますので、皆様にもお求めいただけますと幸いです。



能登半島地震

被災者救援募金

当山ボランティア基金会は、この度、本年元旦に発生した石川県能登半島を中心とした震災被害を受け、被災者救援募金を開始しました。

集まった浄財は、RNN人道援助宗教NGOネットワーク（事務局黒住教）を通じて、すでに被災地域において診療活動を始めている国連認定NGO特定非営利活動法人AMDAに委託させていただきます。

AMDAによりますと、地震発生翌日の一月二日に第一次派遣チームが石川県に入り、同五

日より輪島市内にて診療活動を開始されております。その後もAMDAは、次々と医療チーム（医師・看護師・薬剤師など）

を派遣し、現在は石川県輪島市内の中学校を拠点に、避難生活に伴う胃腸炎や感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ）などの診療、公衆衛生対応などを実施されています。

なお、AMDAは昨年の十二月、長年にわたって理事長として同法人を牽引された菅波茂先生がご退任され、新理事長に当山檀徒でもある佐藤拓史先生がご就任されました。当山としては、諸宗教の集まりであ

るRNN人道援助宗教NGOネットワークを通じて阪神淡路大震災、東日本大震災、西日本豪雨など過去の災害対応での関わりや、佐藤新理事長とのご縁などから、AMDAの活動を今後一層に応援してまいりたいと考えております。

つきましては、檀信徒皆様にもお力添えを賜りたく、ご協力をよろしくお願いいたします。

児童養護施設へ寄付

昨年のお盆行、お彼岸行で檀信徒皆様より頂戴したお布施の一部（五万円）を、去る十二月二十三日、児童養護施設・福祉法人備作恵済会「若松園」様（中区海吉）に寄付させていただきました。また、同園の子どもたちに喜んでもらおうとお菓子のギフトもお贈りしました。当山では定期的に、同施設への寄付支援を行っております。

長泉寺ボランティア基金会 寄付金の受付

ゆうちょ銀行 総合口座
15460 30539111

郵便局以外の金融機関から
振込む場合は

【店名】五四八【店番】548

【預金種目】普通預金

【口座番号】30539111

ご協力いただけます御方には、上記までご納金下さい。

または、当山寺務所前に設置している募金箱への納入、あるいは今回の『いづみ』に同封させていただいる郵便振込取扱票をご記入の上、お振込みいただくことも可能です。

ご協力をお願いします。

◆◆◆◆ 長泉寺文化教室 ◆◆◆◆

長泉寺合唱団ナーガ	練習日	月曜 10時
金剛流御詠歌会	練習日	火曜 10時
御室流華道教室	毎月一回	
写経会	毎月8日、21日	10時
書の会	毎月一回	
将棋クラブ	毎月一回	
寺子屋文化講座	隔月一回	

◆◆◆◆ お気軽にお問い合わせください ◆◆◆◆

長泉寺の縁日法会へ

どうぞご参拝ください

毎月8日 本尊薬師縁日法会

〃 21日 弘法大師縁日法会

〃 28日 不動明王縁日護摩供

いずれも午前10時より

8日、21日は法話と写経があります。

28日は護摩供養と不動真言念誦行をします。

コラム 平城天皇と真如親王

歴代天皇の中で、平城京から長岡京、平安京へと都を移し、政治を大きく変えた桓武天皇は有名ですが、その桓武帝より皇位を継承された平城天皇については皆様ご存じでしょうか？

高祖弘法大師は、平城天皇の次帝、即ち嵯峨天皇との間に特別な交流を深められましたが、平城天皇、およびその皇子である真如親王も真言宗としては大変重要な御方です。

令和六年の今年は平城天皇の崩御一二〇〇年にあたりますにつき、今回は「平城天皇と真如親王」について記してみたいと思います。

さて桓武天皇の第一皇子である平城天皇は、実は弘法大師と同年でして、母を藤原乙牟漏とし宝龜五年（七七四）にご誕生されました。幼少の諱を「安殿」とされ、延暦十二年

（七八五）に十二歳で立太子。

桓武帝の崩御に伴い大同元年（八〇六）に第五十一代天皇とされました。

新天皇は即位からわずか六日後、地方行政の向上を目指す「六道觀察使」を設置。さらには桓武帝が遷都によって浪費していた財政の緊縮化をはかるほか、官僚組織の無駄を排除するなど政治体制の改革を実行。天皇として政治の実権を振るう熱意は相当のものだったようで、即位当初より積極的な政治を展開されました。しかしながら病魔に見舞われ、わずか三年ほどで同母弟である神野親王（後の嵯峨天皇）に譲位することになってしまいました。

太上天皇となられた平城上皇は、奈良の平城旧宮に移り療養をされたのですが、その後にかに体調が回復。未だ三十代と若く、まだまだ冷めやらぬ政治への熱意もあって、嵯峨朝への

発言力を強めていきました。

当時、平城上皇側近の藤原薬子は、上皇が再び実権を握れば、自らも政治の表舞台へ返り咲くことができると考え、兄の藤原仲成とともに朝廷を平城古京へ戻そうと企てます。ところがその策謀を察知した嵯峨朝は、坂上田村麻呂に命を出し、薬子らを捕らえます。薬子は自害するに至り、仲成は射殺されるという事態となりました。上皇も平城古京に戻り剃髪、ご出家をされたのですが、これら一連の騒動は「薬子の変」（大同五年・八一〇年）と言われ、後世には平城天皇を最も象徴する

エピソードとなりました。上皇はそれ以降、平城古京に隠棲。天長元年（八二四）四月、静かに崩御されたのでした。

「薬子の変」が起こった大同五年の十月、我らが大師空海は朝廷の混乱を危惧されてか、

「国家の奉為に修法せんと請う表」を嵯峨朝へ上表し、翌月に高雄山寺（現在の神護寺）にて鎮護国家の大祈禱を捧げられました。その後も護国の修法を数多く修された空海を嵯峨天皇は厚く信頼し、後に東寺（教王護国寺）や高野山を下賜されることになります。真言宗が今日あるのも、嵯峨天皇による空海への特別な待遇があつてこそのものであります。

一方で「薬子の変」によって政治的に失脚してしまった平城上皇には、高岳親王（後の真如入道親王）という皇子がいらっしゃいました。親王は嵯峨帝即位に際し皇太子となられていま



平城天皇廟（奈良市楊梅陵）



真如入道親王

したが、「薬子の変」によって父と同じく政治生命を断たれ、廃太子となつてしまいました。親王はそのような失意の少年期を過ごされた後、弘仁十三年（八二二）、二十二歳でご出家。求道の御志をとて強くお持ちで、先ずは三論宗や法相宗に学ばれましたが、少年期の苦悩がそうさせたのでしょうか、親王は密教に解を求め、ついには空海に師事し真言宗の阿闍梨となられたのです。

そもそも空海といえば、父・平城上皇の政治仇ともいえる嵯峨朝に近い存在であり、親王からすると近寄り難いようにも思えますが、実は平城上皇も隠棲後の弘仁十三年（八二二）、思



真如親王様大師御影

い至られて空海の下で灌頂（真言密教の秘法を授かる儀）を受けていらつしやいました。

親王はその後、平城古京に超昇寺（超勝寺）を建立され、さらには東大寺大仏修理の検校（監督役）も勤められるなど活躍。後には空海の十大弟子の一人と称されほど熱心に師空海に学び、承和二年（八三五）に師が高野山にてご入定されるにあたっては、その遺姿を後世に残そうと肖像画を描かれ、その絵図は現在でも高野山御影堂に祀られています。我々が一般に弘法大師像として拝している御影とは、この時の真如親王が描いた「真如親王様」がモデルとなっているのです。

老年を迎えられても親王の求道の精神は熱く、貞観四年（八六二）には遣唐使となつて中国へ渡られました。しばらく長安で学べれますが、それでもまだ求道心は満たされず、貞観七年（八六五）には天竺（インド）を目指して旅立たれたのでした。残念ながら親王が天竺に辿り着くことは叶わず、羅越国（ラオス）近郊で入寂されたと伝わっていますが、日本人として初めて天竺を目指した人物としてその尊名を歴史に刻まれたのでした。

以上、平城天皇の崩御一二〇〇年に接するにあたり、平城天皇と、皇子・真如親王についてご紹介させていただきました。悩みも苦しみも、誰もの人生に付きものではあります。しかし、強い気持、高い志を持つて生きることもまたできる、という教訓の一つでありましょう。

長泉寺 寺子屋 文化講座

Vol. 44

「岡山市の墓地の変遷」

講師：難波俊成先生

2月27日(火)

19:00~20:30

於：長泉寺本堂

参加無料・予約先着 50 名
参加ご希望のお方には、
当山まで事前にお申込み下さい。

東山や半田山、京山などに巨大な墓地を有する岡山市ですが、歴史的にはどのような経緯で造られていったのでしょうか？
岡山民族学会元理事長の難波先生より解説をいただきます。

弔い、ご供養というものは、継続的な積み重ねが大切です。
年忌法事は忘れないように気をつけましょう。

一周忌 令和五年没
三回忌 令和四年没
七回忌 平成三十年没
十三回忌 平成二十四年没
十七回忌 平成二十年没
三十三回忌 平成四年没
五十回忌 昭和五十年没

令和六年 年回忌表

復活! ひともしコンサート

～光研の世界～



日時 2月23日(金祝)

13:30 開場 14:00 開演

会場 長泉寺本堂

参加 500円

仏教詩家としても活躍する光研名誉住職の世界を、ボイスクリエイターの松原徹が歌います。

主催 長泉寺 共催 トコトコオフィス、NPO 法人音楽の岩

涅槃会

2月15日(木)午後2時～4時

於:玉佛堂

釈尊の遺徳を称えるため、堂内に涅槃図を掲げ、常樂会という法会を奉修します。
どなた様にも、どうぞご参拝下さい。

ルネスクラシックシリーズ vol.13

CONCERT 環 KAN 21th

2月4日(日)14:00 開演(13:30 開場)

@ルネスホール(旧岡山日銀ホール)

一般前売・当日共に¥1,500

中学生以下無料

長泉寺合唱団ナーガも出演します♪

特別祈禱酒 **ながいづみ**
特定店にて好評販売中
岡山天満屋 倉敷天満屋 酒ショップ山本等にて
檀信徒皆様には
よろしければぜひお求め下さい



コロナ禍の夜明けを祝う清酒

将棋クラブ

毎月一回 客殿で開催中 参加無料

■68回目
1月27日(土) 13:30-16:00

■69回目
2月17日(土) 13:30-16:00

いつも集まったメンバーで楽しくやっています。どなたでもお気軽にご参加ください。

長泉寺の公式ホームページをぜひご活用下さい

長泉寺 南方

検索

住職のブログ、月行事日程、文化教室のご案内など長泉寺の様々な情報をご覧になれます